

会員一当死亡事故が発生

東ト協

東京都トラック協会会員との「連続で増加の一途を辿っていることから、当死亡事故が発生した。トラック事故「新しい年における交通事故防止に速報(警視庁の協力)で発生」によると、2月27日、大田区内で発生した事業用準中型貨物車と原動機付自転車との死亡事故が、会員第1当死亡事故と判明したもので、令和7年1件目の発生となる。

東ト協では1月7日、都内における事業用貨物車関与の死亡事故が4年連続で増加の一途を辿っていること、2025年の目標達成最終年に当たることから、改めて事故防止に向けて「注意喚起を行うとともに、運転者に安全運転励行などの指導が求められる。」

飲酒運転撲滅へさらなる対策が必要に

警察庁の交通事故統計と、死亡事故が最も多い計(1月末)によると、事業用貨物車・第一当事者(20・0%)減少し、準中型車も3件で同2件の死亡事故件数(軽貨物車を除く)は18件で、前年同期比1件(5・3%)減少した。

これを車種別でみると、普通車は1件で同1件増、中型車は6件で同2件(50・0%)増加、大型車は8件で同2件(25・0%)減少した。令和6年に発生した事業用貨物車の死亡事故件数は200件で同1件の増加。一方、6年の都内における事業用貨物車の死亡事故件数は29件で同4件の増加となり、これを示していた。しかしながら、2月27日に会員関与の第一当死亡事故が発生、翌28日には非会員関与の死亡事故が発生した(6面に関連)。

さらに、国土交通省物流・自動車局のメルマガ



水野会長

東ト協では広報活動の一環として、水野功会長が3月6日放送のTOKYO FM・提供ラジオ番組「ONEMORNING」に生出演し、物流の「2024年間問題」から1年が経過した物流の現場の状況を伝えるとともに、「トラック協会として、「ドライバーファースト」の視点に立った事業展開についてコメントした。

水野会長は、「物流業界に政治・行政が応援の風を吹かせたことは初めてで、荷主も運賃交渉に際して空気感が出てきており、これから始まり、本番だと思ってる」と述べた。

また、水野会長が掲げる「ドライバーファースト」の視点に立った取り組みについて、人手不足解消にはドライバーの処遇改善、賃上げが何よりも重要となる。そのため、コンテストや運転者講習の開催、さらにドライバーの健康診断費用助成の倍増や、脳MRI健診への補助など、ドライバーの健康管理などの支援を強化することで、「ドライバーファースト」を実現させたいと協会の取り組みを説明。

このほか、「ドライバー・同番組では、パーソナリティのユージさんとフリーアナウンサーの吉田明世さんが出演し、東ト協提供により交通情報を放送している。

「ドライバーファースト」へ運賃値上げの必要性訴える

東ト協提供により交通情報を放送している。

3月19日まで

東ト協は、協会ホームページ(HP)で、令和7年度・第46回「東ト協ドライバー・コンテスト」の出場選手を募集している。受付期間は3月19日まで。

東ト協ドラコンは、警視庁交通部との共催により、安全運転の知識・技能向上と、都民に信頼されるプロドライバーとしての意識高揚を図る目的で実施している。全日本ト

「学科競技」
4月24日(木) 13時30分

「実科競技」
5月25日(日) 10時から受付、11時開始

「表彰式」
6月2日(日) 14時30分

「表彰式」
6月2日(日) 14時30分

「実科競技」
5月25日(日) 10時から受付、11時開始

「学科競技」
4月24日(木) 13時30分

※女性・トレーラー部門への参加申込事業者については、同部門の参加申込1名につき、実施要綱等で規定する参加申込上限を1名ずつ追加できる

▽個人表彰
各部門を通じて最優秀者と各部門優勝者のほか、各部門の上位5位までの者を表彰

▽事業所表彰
最優秀者の所属事業所を表彰

詳細は、東ト協ホームページまたは同封のチラシを参照。

▽問い合わせ先 東ト協 協業部交通・環境G ☎03・3359・3618

ドラコン出場選手を募集中

「表彰式」
6月2日(日) 14時30分

「実科競技」
5月25日(日) 10時から受付、11時開始

「学科競技」
4月24日(木) 13時30分

荷主と物流事業者との相互協力へ

関運局 関経局



小林代表幹事(左)に要請書を手渡す藤田局長(中)と佐合局長(右)

関東運輸局と関東経済産業局は2月19日、関東商工会議所連合会に対し、物流改正法施行による新たな規制の措置への対応について、連名で協力要請を行った。

同日は、関運局の藤田礼子局長と関経局の佐合達矢産業局長が、関商連を訪れ、小林治彦代表幹事に要請文書を手渡した。

関商連は、物流改正法による新たな規制の措置への対応について、連名で協力要請を行った。関商連は、物流改正法による新たな規制の措置への対応について、連名で協力要請を行った。

関商連は、物流改正法による新たな規制の措置への対応について、連名で協力要請を行った。

関商連に協力を要請

関商連に協力を要請

紙面あんない

特集ドライバーファーストの物流実現へ
東ト協、経営教育委員会を開催
東ト協、総務小委員会を開催
セーフティドライブコンテスト結果
東京都 貨物輸送評価制度セミナー

2 4 5 6 7

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R20

「ドライバースト」の物流実現へ健康支援

都民生活や経済に必要な物流は、トラックドライバーが支えています。東京都トラック協会が掲げる、「ドライバースト」の施策は、ドライバーストの安全面や健康面からサポートすることで、安全で健康に働ける限り頑張ります。物流の2024年問題の労働力不足にも対応していくことを目指しています。健康起因事故の防止には、定期健康診断の受診と受診結果のフォローアップが必要です。今回は、ドライバーストの意識消失にも繋がり、肥満との因果関係のある糖尿病について、産業医の長濱さつ絵先生が対策などを解説します。

連載

第1回

健康診断の事後措置の重要性 ～糖尿病を中心に～

長濱産業医事務所
長濱さつ絵
(産業医)

健康診断、やっていますか？ 労働安全衛生法で定められている定期健康診断や、雇入れ時健康診断の早期発見・予防だけでなく、病後によって起こり得る様々な問題に未然介入できる重要な機会ですが、受けただけでは防げるわけではあ

また、糖尿病は1型と2型に分類されます。1型糖尿病は自己免疫の影響で、突然膵臓からインスリンが作られなくなる病気で、生活習慣には関係なく発症します。2型糖尿病は生活習慣が影響しますが、同じ食生活を送っていても血糖値が上がりやすいかどうかは、体質(遺伝的要因)が大きく関係していると感じます。筆者が産業医として、糖尿病を持つ従業員との面談で感じるのは、「自分の生活習慣が悪いからだ」と不安に思っている人が多いです。血糖値が上がり、精いっぱい気を付けてながら生活する中で、ちょっとしたことで血糖値が悪化し、自己肯定感が下がってしまう人

慣の改善が見つかると、血糖値の管理はぐっと良くなります。それだけでなく自己肯定感が戻り、表情が明るくなる人が多いです。小さな成功体験を積み重ね、無理なくできることを一緒に探していくことが、より良い健康管理につながると思います。生活習慣の改善がうまくいかなければ、頑張らず、どうぞ寄り添ってくれる専門家に相談してみてください。

適切な治療と日常対策を

糖尿病の治療薬は様々な種類があります。最近10年で保険適応となったSGLT2阻害薬は、糖を尿に排出することで体重減少や血圧低下の効果も期待できる上、腎不全や心機能の保護作用、認知症予防の効果、そして睡眠時無呼吸症候群の症状を改善することが報告されています。そのほかにも、食欲を抑えて体重管理にも有効な薬や、低血糖リスクが少ない薬、インスリンの効きを良くする薬や、糖の吸収を遅らせて食後血糖値の上昇を抑える薬もあります。

健康→食後高血糖→糖尿病と進む

この段階で生活習慣の改善が必要

食後血糖値が高い

食後高血糖の人

健康人

食後血糖上昇は緩やか

空腹時血糖も高い

空腹時血糖は基準内か、やや上昇

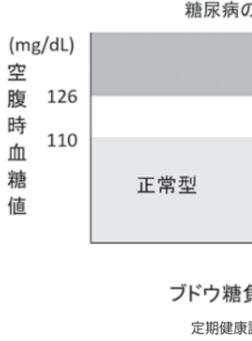
食後経過時間 (分)

1型・2型糖尿病とは



糖尿病は、血液中の血糖値が高い状態が続く病気で、血糖値が短期間に少し高い程度であれば、なんの症状もありませんが、長年放置すると様々な合併症を引き起こします。

狭心症・心筋梗塞、脳卒中や認知症、低血糖、失明、腎不全・透析は血糖値が短期間に少し高い程度であれば、なんの症状もありませんが、長年放置すると様々な合併症を引き起こします。



適切な治療と日常対策を

糖尿病の治療薬は様々な種類があります。最近10年で保険適応となったSGLT2阻害薬は、糖を尿に排出することで体重減少や血圧低下の効果も期待できる上、腎不全や心機能の保護作用、認知症予防の効果、そして睡眠時無呼吸症候群の症状を改善することが報告されています。そのほかにも、食欲を抑えて体重管理にも有効な薬や、低血糖リスクが少ない薬、インスリンの効きを良くする薬や、糖の吸収を遅らせて食後血糖値の上昇を抑える薬もあります。

健康→食後高血糖→糖尿病と進む

この段階で生活習慣の改善が必要

食後血糖値が高い

食後高血糖の人

健康人

食後血糖上昇は緩やか

空腹時血糖も高い

空腹時血糖は基準内か、やや上昇

食後経過時間 (分)

人手不足解消を後押し

中小企業は、中小企業省力化投資補助事業（一般型）の第1回公募を実施する。受付期間は3月19日17時まで。同補助金は、中小企業などの売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業などがIoT・ロボットなどの人手不足解消に効果がある設備を導入するための経費の一部を補助



することにより、省力化投資を支援するもの。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図るとともに、賃上げに繋げることを目的としている。

中小企業省力化投資補助金（一般型）

中企庁

従業員5人以下/750万円(1000万円)、同6~20人/1500万円(2000万円)、同21~50人/3000万円(4000万円)、51~100人/5000万円(6500万円)、101人以上/8000万円(1億円)。

補助対象者は中小企業者、小規模企業者・小規模事業者、特定事業者の一部。特定非営利活動法人、社会福祉法人。補助事業の基本要件は①労働生産性の年平均成長率が+4%以上増加、②1人当たり給与支給総額の年平均成長率が事業実施都道府県における最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上、または給与支給総額の年平均成長率が+2%以上増加、③事業所内最低賃金が事業実施都府県に

第1回公募

3月19日~31日

道府県に

令和7年度予算案における「賃上げ」支援助成金パッケージ

厚生労働省 生産性向上に資する設備投資等を行った場合に、その設備投資などにかかる費用の一部を助成する「賃上げ」支援助成金パッケージを策定し、生産性向上支援時期等の見直しの重点化を行う。

「働き方改革推進支援助成金」では、労働時間削減等に向けた環境整備のために外部専門家のコンサルティング、労働能率の増進に資する設備・機器の導入等を実施し、改善の成果を上げた場合に助成する。対象労働者の現行の賃金額を3%、5%増加させた場合の加算に加え、7%の場合の助成強化、恒常的な長時

WebKIT

協運ト協全 運賃指数

全日本トラック協会・日本貨物運送協同組合連

2月は139に

前年比13ポイント上昇

合会の求荷求車情報ネットワークWebKITの成約運賃指数によると、令和7年2月の指数は139で前月比増減なし、前年同月比13ポイント上昇した。成約運賃指数は3月15日時点で前年同月を上回り、引き続き高い水準で推移している。

荷物情報(求車)登録件数は15万2435件で、前年同月比12.1%増加。一方、成約率は15.1%で同2.4ポイント減少した。

東ト協がこれまで力を入れて取り組んできた標準的運賃の届出は、着実に成果を上げてきた(2月25日号参照)。引き続き届出を増やす努力は必要だが、次は実際に運賃の値上げを実現することだ。4月からの賃上げを実現するためにも、原資を確保しなければならない。これまでは新年度からの運賃改定が一般的だったので、2月ごろが交渉のヤマ場になっていた。だが、現在は「2024年問題」への対応のためにも「通年交渉」で臨む必要がある。

運輸 点描

運賃値上げへ取り組み強化を

最初に標準的運賃が告示された当時は「現在の運賃と比較するとかなり高く、荷主に話を持っていくことができない」という事業者が多くいた。しかし、「2024年問題」がマスコミなどでも取り上げられるようになった一昨年ぐらいいから雰囲気が一変し、最近の運賃交渉では話し合いのキッカケに、標準的運賃を提示する事業者が増えた。全体的には荷主の受け止め方もかなり変化してきている。もちろん交渉なので満額回答は難しいだろうが、ただ「高い」の一言で一蹴するような荷主はいなくな

交渉で時給アップの必要性を強調 具体的な改善案提示も不可欠に

トラックの「ひつ迫感」よって全産業平均と比較した賃上げ率を示して、収入格差が拡大しているデータを交渉材料にすることも必要だろう。また、車両価格の上昇なども、当該荷主と契約している車両の10年前の見積もりと、現在の見積もりを提示することで、価格転嫁の必要性を説得力を持たせると有効である。「2024年問題」の解決に向けた取り組みが進行しているのだ。

物流子会社が間に入る取引では、事業者の事情を理解しつつも親会社の説得が難しい、といったケースもある。ある中小事業者は物流子会社と話し合って、親会社対策を講じた。仕事への影響が少ないような範囲内で、時間を、道路事情など不

可抗力の場合には午前中いっぱいまで柔軟性を持たせた(連絡等のルールを確立)。見込みで早めに出発するのをやめて、拘束時間を短縮したのだ。

あるいは、通学道路を通るルートの変更先では、登下校時を避けるような時間帯に指定時間を再編成した事業者もいる。これは労働時間短縮よりも安全重視と、ドライバーの精神的負荷の軽減という側面が強い。「2024年問題」の話し合いの中で実現した。

その他にも百社百様でいろいろな事例があるが、まずは標準的運賃を基に運賃交渉し、待機時間短縮などにも取り組むことが重要である。

森田富士夫

高等学校就職問題検討会

8年3月の高校新卒者採用選考期日まどめる

全国高等学校校長協会と主要経済団体(日本経済団体連合会・日本商工会議所・全国中小企業団体中央会)、および文部科学・厚生労働各省はこのほど、高等学校就職問題検討会を開催し、令和8年3月の新卒者に対する採用選考期日について取り

入し、離職率低下を実現した事業主に対して助成する。雇用管理制度助成コースを7年度から再開する際、人事評価改善等助成コースを統合の上、ページなどを参照。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当:青木)

高島平 03-6906-5960 (担当:磯田)

ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

輸送相談員スキルアップ



苦情相談への対応強化

東ト協 経営教育委員会 承認した。冒頭、菊池委員長が「各研究、調査結果について説明。調査結果(速報値)によると、1社平均の売上(兼業を含む)は、前年比で増収となり、また、売上高営業利益率は前年を上高営業利益率に改善した」と述べた。

また、6年4月から7年1月までの輸送相談実績を報告した(詳細は確定後掲載)。このほか全ト協経営分析事業や、中小企業信用保証法業種指定継続のための輸送量実態調査に協力したほか、全ト協の中小トラック運送事業者のための経営診断助成事業、インターンシップ導入促進支援事業の取り組みについて、担当者から報告を受けた。

また、6年4月から7年1月までの輸送相談実績を報告した(詳細は確定後掲載)。このほか全ト協経営分析事業や、中小企業信用保証法業種指定継続のための輸送量実態調査に協力したほか、全ト協の中小トラック運送事業者のための経営診断助成事業、インターンシップ導入促進支援事業の取り組みについて、担当者から報告を受けた。

東ト協は2月28日、東ト総合会館で、全日本トラック協会との共催による「令和6年度「トラック運送事業者のための人材確保・労働環境改善セミナー」(Web併用)を開催した。

セミナーでは、日本PMIコンサルティング代表取締役の小坂真弘氏が講演。運転者人材の雇用状況と採用、人材育成・定着に向けた職場環境の整備などについて説明したほか、AI生成ツ

人材確保・労働環境改善セミナー

1日のChat GPTを活用した実務について解説した。

小坂氏は、運転者人材の雇用状況について、中小企業の採用難が続いていると言われているが、年間約15万人前後が運送業界に就職している。半分の採用は全国でも7000人ほどで、大手企業は採用コストをかけることから、安定的に採用している傾向にある」と説明。

人材の確保と定着のため 職場環境の整備を



また、ドライバーの平均年齢が50〜54歳で高齢化が進んでいる現状で、39歳以下の若年層の採用難について、免許取得ありきで未経験者を排除してしまう傾向があるため、「今後は未経験者に免許を取得させ、現場に出していくことが重要」と述べた。

東ト協 経営教育委員会

ら改善し、運送事業の営業利益率は4年ぶりの黒字へと転化する見込み。物流の2024年問題に対応する中で、運賃の値上げが実現するなどの影響があったとし、取りまとめ状況を報告した(詳細は確定後掲載)。このほか全ト協経営分析事業や、中小企業信用保証法業種指定継続のための輸送量実態調査に協力したほか、全ト協の中小トラック運送事業者のための経営診断助成事業、インターンシップ導入促進支援事業の取り組みについて、担当者から報告を受けた。

本部個別指導を実施

および鳥しよに所在する事業所を対象に実施する。鳥しよを除き2年に1回の頻度で対象の事業所に参集の通知を送付し、本部・多摩地区(三多摩自動車会館)において、個別指導は、車両台数5台未満の霊柩または一般廃棄物運送事業所は、一般廃棄物運送事業所

適正化実施事業

東ト協は2月21日、東ト総合会館で令和6年度第5回個別指導を実施した。個別指導は、車両台数5台未満の霊柩または一般廃棄物運送事業所は、一般廃棄物運送事業所

さらに、求人方法について、応募者を集めている中小企業の共通項として、YouTubeやTikTokなどのSNSの力を利用して、他社との差別化を図っていると解説し、アピールツールとして自社の露出度を上げていくべきと強調した。また、Chat GPTの活用事例を紹介し、採用

用において競合他社の状況や営業のアイデアなど、業務の効率化や改新の道具として、試しに使用してみても活用してほしいと勧めた。



個別指導では、小規模な事業者が多く改善項目は多岐にわたり、適性診断や特別指導、点呼の実施、一般の指導監督などを指摘し、改善を求めた。

物流経営士研修会・交流会

東ト協は2月27日、東ト総合会館で令和6年度物流経営士研修会および交流会を開催し、第24期までの物流経営士課程を修了したOBなどおよそ40人が参加した。



研修会では、同講座のカリキュラム作成、講師、修了論文の審査から修了認定までに携わる神奈川大学名誉教授の中田信哉氏が「二つの物流の風景」と題して記念講演を行った。中田氏は、メーカーや商社などによる在庫を回転させる流通由来の物流(物的流通)と、トラック運送事業者による運行を中心とした運輸由来の物流(物資流動)について解説。トラック運送事業者側が開発したシステムを荷主が利用する「コモン」と顧客(荷主)が開発した物流システムのある部分を、トラック運送事業者が請負受託する「コ

期を超えて交流図る

超えた交流を図った。



グアム物流事情を視察

東ト協ロジ研 本商(一部部長)は2月6〜8日、グアムへの「海外研修・物流状況視察」を実施し、道路交通状況や物流関連施設などを視察した。

今回の研修にはロジ研メンバーなど9人が参加。昨年開設の物流関連エリアなどを視察するとともに、グアムやサイパンに日本の食材などを提供しているサン・パシフィック・エントラプライズ社を訪問し、物流事情について説明を受けた。

協会日誌

2月16〜28日

17日 適正化事業指導委員会▽トラックフェスタ2025実行プロジェクトワーキンググループ会議▽定期健康診断フォローアップセミナー

18日 正副会長会▽東京都交付金事業実施計画案検討委員会▽鉄鋼専

21日 経営教育委員会 対策フォーラム

27日 紙・パルプ専門部会 東京洋紙代理店会との「自主役員に関する調査」結果報告会▽物流経営士研修交流会

28日 トラック運送事業者のための人材確保・労働環境改善セミナー▽支部輸送相談員研修会

日程ボード

3月16〜31日

17日(月) 10時〜中堅社員強化プログラム(東ト総合会館)▽13時30分 環境委員会正副委員長会議(同)▽14時 環境委員会(東ト総合会館/Web併用)

18日(火) 15時〜ロジ研正副部長会議・幹事会合同会議(東ト総合会館)▽16時 同本部連絡意見交換会(同)

19日(水) 14時 経営者セミナー(東ト総合会館/Web併用)

21日(金) 13時30分 東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会(東ト総合会館)

24日(月) 14時 総務委員会(東ト総合会館/Web併用)

25日(火) 10時30分 労務厚生委員会(東ト総合会館/Web併用)

26日(水) 14時30分 物流政策委員会(東ト総合会館/Web併用)

28日(金) 14時 理事会(東ト総合会館/Web併用)



会長候補者選出手続 改正案を取りまとめ

東京都トラック協会総務委員会(原島藤壽委員長)の令和6年度第2回総務小委員会が3月4日、東ト総合会館で開催され、パイロットプロジェクト(PB)の活動状況、会長候補者の選出に関する規程の改正案について審議・承認した。

開催に当たり、小委員会の委員長を務める原島委員長があいさつし、「総務委員会に諮った会長候補者の選出に関する規程の素案を修正のうえ、改正案として取りまとめ、総務委員会、理事会を通していくためにも、小委員会での十分な審議が必要となる」と述べた。



議事では、PBの活動状況を報告。渋谷・世田谷・目黒PBは、ドライバー安全教育(法定12項目)におけるEラーニングを導入。台東・墨田・荒川PBは合同で運転者講習会を開催したほか、2024年問題に関する講習会を深川・城東PBとの共催で実施した。これらの3PBについては、所定の要件を満たしているとの認め、今月末に開催される総務委員会と理事会での審議・承認を経て、7年度よりブロックに移行する。第1期ブロックの千代田中央・港ブロック、多摩ブロックと合わせて、5ブロックで活動を展開する。

また、品川・大田PB、文京・豊島・北・板橋・練馬PBについては、様々な活動を実施してきたが、所定の要件を満たしていないことから、7年度も引き続きPBとして活動する。小委員会では、選出プロセスを明確化し、委員の選定方法の見直し、委員の就任要件の見直し、委員長の選定方法の見直し、委員長の任期の明示と通算任期の上限の設定を確認した。

東ト協足立支部(鳥ノ海学支部長)は3月5日、足立区のトラック会館で、近藤やよい区長から「未来へつなぐあだちプロジェクト」への支援協力として、感謝状を贈呈された。

同日は、足立区政策経営部あだち未来支援室の伊東貴志室長と同室子ども貧困対策若年者支援課の濱田康二郎課長が訪協し、鳥ノ海支部長が伊東室長から感謝状を受領した。同支部は令和2年に初めて、足立区の子どもの

貧困対策に取り組むプロジェクトを支援するたため、支部チャリティゴルフで集まった浄財を使い、区内で運営される子ども食堂にお米を寄附した。区内で運営される子ども食堂へお米を寄附したお米は、区内の子どもの食堂や児童養護施設などに届けられている。

総務委員会では、選出過程における透明性を確保するよう求められたことから、委員の守秘義務の限定化として、会長候補者の選出・管理委員会の委員の守秘義務について、個人のプライバシーや企業・団体等の利益を害する恐れのある情報などに限定し、必要以上の守秘義務を課さないこととし、条文を修正した。

改正案となる「会長候補者の選出に関する規程」は、第4回総務委員会(3月24日開催予定)、第5回理事会(3月28日開催予定)での審議・承認を経て、新たな手続きの周知を図り、改選期となる8年度から新たな規程と手続きを適用して会長の選定を行う方針だ。

プロジェクト支援で 子ども食堂にお米を寄附



伊東室長から感謝状を受領する鳥ノ海支部長

子ども食堂へお米を寄附したお米は、区内の子どもの食堂や児童養護施設などに届けられている。

東ト協は、TOKYO FMラジオ番組「YOFM」で交通情報提供を行うとともに、毎月1回、東ト協からのプレゼントパブリシティを実施しているが、同局ホームページを通じて、聴取者よりトラックドライバーや運送事業者への感謝や応援メッセージが多く寄せられている。

FMラジオ番組 聴取者メッセージ

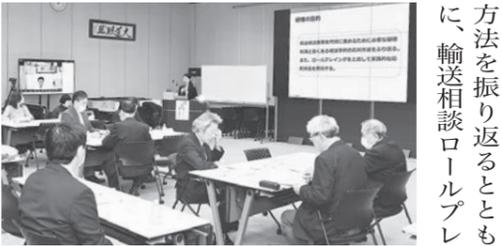
東ト協は、TOKYO FMラジオ番組「YOFM」で交通情報提供を行うとともに、毎月1回、東ト協からのプレゼントパブリシティを実施しているが、同局ホームページを通じて、聴取者よりトラックドライバーや運送事業者への感謝や応援メッセージが多く寄せられている。

1月の放送分では、「過労防止」をテーマに、ドライバーに向けて、運転中の自己管理が大切

対応力スキルアップを図る

東ト協は2月28日、東ト総合会館で支部輸送相談員研修会(Web併用)を開催した。研修では、接遇コミュニケーション、代表取締役の能力、みゆき氏が「相談業務に必要なコミュニケーション」をテーマに、輸送相談業務を円滑に進めるために必要な基礎知識と方法を振り返るとともに、輸送相談ロールプレイングを体験した。

基礎知識の習得では、確認テストを通じて解説。輸送相談によくある事例では、引越における荷物の破損、荷物の紛失、作業員の対応への不満、見積もりと実際の料金の不一致について、ヒアリングポイントや該当する標準引越運送約款についてグループディスカッションで学習した。



東ト協 支部輸送相談員研修会

東ト協では、輸送相談窓口を各支部に設置し、一般市民からの輸送に関する相談、意見、苦情などを受け付けているほか、引越の相談窓口として対応している。

宅配・長距離、 ドライバーに 感謝と応援も

物流やドライバーに感謝の気持ちを伝えるメッセージが、様々な世代から寄せられた。

また、トラックドライバーの家族からは、「夫も長距離トラックドライバーです。皆さんきついな、眠いし、長距離なので大変でしょうが、体調を崩さないよう頑張ってください」といった、ドライバーの健康面を気遣うメッセージも届いている。

ほかには、「ドライバーの思い出をつづったメッセージも寄せられている。

天然ガストラックは物流の エネルギーセキュリティ向上と 大気環境改善を実現します。



石油系燃料に頼らない天然ガストラックは東日本大震災直後でも、大半が運行を停止することがありませんでした。天然ガスの産地は世界中にあり、エネルギーセキュリティ性が高いことが特徴です。さらに天然ガストラックはCO2やNOx、PMなどの排出量が少ないため大気環境改善に貢献しています。



飲酒運転死亡事故140件 8年ぶりに前年比で増加

警察庁は2月27日、「令和6年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」をまとめた。6年中に発生した全体の交通事故件数は29万8955件で前年比1万7035件(5.5%)減少し、このうち死亡事故件数は2598件で同20件(0.8%)少なかった(以下増減は前年比)。

また、死者数は2663人で同15人(0.6%)減少、負傷者は34万4395人で同2万1200人(5.8%)少なかった。交通事故死者数を年齢層別にみると、高齢者(65歳以上)が1513人で47人(3.2%)増加し、全体の半数を占める。また、状態別では歩行者が全体の36.2%と最も多く、次いで自動車乗車中が32.9%だった。歩行中の死者数については、年齢層別では高齢者が減少傾向にあるものの、全体の68.7%と約7割を占めており、高齢者への注意が必要だ。

6年度SDコンテスト

警視庁交通部主催の令和6年度セーフティドライブ(SD)コンテスト(6年7月1日から12月31日まで)では、東京都トラック協会から1395チームが参加し、このうち無事故・無違反を達成したのは1071チーム(76.8%)だった。また、交通安全事故は、合計22件発生。交通人身事故は18件で、すべてが軽傷であり、死亡・重傷は発生していない。交通物件事故は4件だった。

また、交通違反は合計355件発生しており、最も多いのは速度違反75件で、次いで信号無視60件、通行禁止55件、一時不停止36件、歩行者妨害等33件、駐車違反等20件、携帯電話17件、過積載1件、などとなっている。飲酒運転は発生していない。これらの違反は重大事故故につながるから、改めて教育・指導の徹底が求められる。

全ト協「飲酒運転根絶を目指して」を改訂

全日本トラック協会は2月26日、リーフレット「飲酒運転根絶を目指して」を改訂し、最新の飲酒の実態と再発防止策(写真)を改訂し、全ト協ホームページに掲載している。

また、2年度から5年度まで4年間の年齢別・運転経験年数別飲酒運転事故等の種類、当時の状況などの調査結果を反映した。調査結果によると、6年中の事業用トラックによる飲酒運転事故は30件で、このうち都道府県別では、東京都の事業者が1件の飲酒運転事故を発生させた。

また、交通安全事故は、合計22件発生。交通人身事故は18件で、すべてが軽傷であり、死亡・重傷は発生していない。交通物件事故は4件だった。また、交通違反は合計355件発生しており、最も多いのは速度違反75件で、次いで信号無視60件、通行禁止55件、一時不停止36件、歩行者妨害等33件、駐車違反等20件、携帯電話17件、過積載1件、などとなっている。飲酒運転は発生していない。これらの違反は重大事故故につながるから、改めて教育・指導の徹底が求められる。

6年中の飲酒運転事故30件



トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

◎運行中は前方や周囲の状況への注意を怠らないこと。トラックは死角が多いので、対向車および周囲の交通状況に特段の注意を払い、安全確認を徹底すること。

日時	2月27日(木) 15時43分頃発生(晴天)
場所	大田区内(臨海道路)
当事者	①原動機付自転車(男性70代死亡)×②事業用準中型貨物車(男性60代)
状況	大田区東海 至 南部陸橋東詰
概要	事業用準中型貨物車が臨海道路を南部陸橋東詰交差点方向から大森方向に第4通行帯を左の安全確認をしないまま進行したことにより原動機付自転車と接触し轢過したもの。

◎運行中は前方だけでなく、左右、後方を含めた周囲の交通状況にも注意を払うこと。道路標識・道路標示及び規制に従って運行をすること。

日時	2月28日(金) 9時27分頃発生(晴天)
場所	八王子市(国道16号)
当事者	①自家用普通乗用車(男性30代死亡)×②事業用中型貨物車(男性40代)
状況	八王子鐘水 至 埼玉
概要	事業用中型貨物車が国道16号(八王子バイパス)で、埼玉方向から神奈川方向に向かって路肩に駐車して作業中、自家用普通乗用車が何らかの原因により追突したものの。

東日本 NEXCO 圏央道幸手IC〜五霞IC 4車線化運用を開始

NEXCO東日本は3月14日午前6時、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の幸手IC〜五霞IC間(延長4.2キロ)の4車線化運用を開始する。同区間の運用開始に併い、最高速度は時速70キロから同80キロに変更する。これにより、圏央道埼玉区間(青梅IC〜五霞IC間)の全線4車線化が完成。NEXCO東日本では、残る茨城県・千葉県区間も、引き続き安全を最優先に整備を進めていくこととしている。

運転寿命を延ばすための 視野障害対策

オリジナル冊子

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。

この度、視野障害が原因となる交通事故を防ぐため、事業者が取り組むべき内容をまとめたDVD付冊子を制作しました。

国土交通省事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げられた取り組むべき課題「健康に起因する事故の増加への対応」に則した指導・教育にご活用ください。

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL: 03-5337-1754
MAIL: ansui@kankokyo.or.jp

関東交通共済協同組合

運転寿命を延ばすための 視野障害対策

- 視野障害の早期発見
- 早期治療・治療継続
- 運転寿命を延ばす

オリジナル編集版DVD付冊子

「信号機が消える！」
～視野障害(緑内障)が引き起こす交通事故を防ぐために～

関東交通共済協同組合



取り組みを荷主へのアピールに

東京都環境局は3月5日、台東区のヒューリックカンファレンスで、荷主企業を対象とした物流DX化セミナーを開催。環境課長が、貨物輸送評価制度などの取り組みについて発表。ゼロエミッション東京戦略やZEV普及プログラムなど、荷主企業に求められるDXの視点などを解説した。

東京都 貨物輸送評価制度セミナー
Scope3輸送・配送で削減
 東京都環境局は3月3日、中央区野村コンファレンスプラザ日本橋5階大会場で、「貨物輸送評価制度セミナー」を開催した。開催に当たり、都環境局環境改善部の戸井崎正巳環境改善部長のあいさつを同部の吉迫武自動車環境課長が代読し、「脱炭素化社会の実現に向けて、FCVトトラックへの補助を活用し、導入を進めてほしい。それに加えて、現在使用している車両でCO₂排出を削減していくのが重要。貨物輸送評価制度の取り組みの柱となるエコドライブは意義のあるもので、今後取り組みを進めてほしい」と述べた。

また、東ト協業務部副理事の前川宣将氏が、東ト協の取り組みとして、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動成果について説明。活動18年間の燃料削減量は約12.4万キロリットル、CO₂削減量は約32万2485ト、加えて交通事故低減率は平均26.8%と、環境と安全両方の成果や、SDGに貢献する取り組みであることを紹介した。

さらに、GEP事務局の水野将大氏が、貨物輸送評価制度の評価取得事業者の取り組みについて発表した。

東運支局 整備管理者研修(選任前)
 7年度 東京都運輸支局は5月14日(28日)、第2回、令和7年度「整備管理者選任前研修」を合計3回開催する。受講料は無料。

開催日程(受講予約の受付期間)は次の通り。
 第1回/5月15日(4月)

物流施設におけるDX推進実証事業
 ウェビナーで効果検証・事業総括
 国土交通省は3月17日、「物流施設におけるDX推進実証事業」効果検証・事業総括ウェビナーを開催した。

改訂版では、女性ドライバーをはじめとしたトラックドライバーの確保を自社の優先課題として、様々な取り組みを行い、多様な人材の採用・定着に成功している会員事業者の事例を紹介したもので、4社の取り組み事例(写真を発行した)。

女性トラックドライバー採用促進
 全ト協「成功事例集」パート2 を収録している。機関紙

『広報とらつく』に掲載した連載企画「女性の輝く現場から」トラグールの「お仕事。」の記事を、再構成して紹介している。併せて、人材確保に役立つ助成制度や支援ツール、認証制度なども紹介している。詳細は全ト協ホームページを参照。

同研修は半日研修で、各回とも午前・午後の2回開催。研修時間は、各日とも午前9時45分〜12時15分/午後1時30分〜4時。会場は、いずれも品川区立総合区民会館ぎゅりあん6階大会議室(品川区東大井5の18の1)。

受講対象は、整備管理者として選任予定の者。
 ※過去に同研修を受講した者、自動車整備士(1〜3級)

意見交換、④次年度予定事業の概要—について説明するとともに、有識者や一部の採択事業者が効果を検証する。

申し込みは、左記の二次元コード/物流DX推進実証事業ホームページ(HP)から申し込む。受付は、3月17日正午まで。詳細は、HPを参照。

運行管理者試験テキスト
 【貨物編】
過去の問題の解説と実践模擬問題
 【過去の問題100問 + 模擬問題30問】
 定価 2,640円(税込)

令和6年版 (7月刊行) **自動車六法**
 定価 7,700円(税込)

株式会社 輸送文研社(柏林書房)
 TEL03-3861-0291 FAX03-3861-0295

5・7・9月に3回開催

3月17日開催

二次元コード

令和6年4月から適用されています! **自動車運転者 時間外労働の上限規制**

▶ 36協定の上限 (最長:年960時間) を超えないよう、毎月の労働時間管理をしてください。

36協定

【原則】 月 45 時間
 年 360 時間

【特別条項】 (臨時的な特別な事情の場合)

① 単月・複数月平均の上限はなし
 ② 上限年960時間
 ③ 特別条項の回数制限の適用なし

年 960H

特別条項

時間外労働時間数

法定労働時間
 1日8時間
 週40時間

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

はたらきかたスズメ 検索

詳細はこちら

東京労働局公式Xは
 こちらからフォローをお願いします!

東京労働局労働基準部監督課
 (電話 03-3512-1612)

